

# 新しい風の会



水戸市議会議員  
木本信太郎  
Shintaro Kimoto

活動報告 ■ 第2号 発行 ■ 水戸市議会 新しい風の会 会派控室 ■ 水戸市役所6F TEL.029-224-1111 (内線585) 事務所 ■ 水戸市千波町127-2 TEL.029-241-9100

## 真 贗

日頃より新しい風の会 木本信太郎の政務調査活動に対しまして寛大なる気持ちで見守って頂き、またその時々におきまして、各地域が抱える問題点の分析や世代を反映したご意見、その分野における貴重な助言など、様々な形でご協力を賜りましてありがとうございます。

この度、そうした昨年における政務調査をはじめとする活動報告をまとめた会報を改めて発行させて頂く運びになりました。現在、地方分権や道州制など、地方が今後いか

に生き残って行く事が出来るのか、その道筋において多くの議論がされ、本市におきましても、県都として担って来た経済や文化の中心としての責任が徐々につくば市をはじめとした県西・県南にその役割や規模が徐々に移行している現在、市民が解決を望む様々な問題にどう答えていくか、全世代が感じているであろう将来に対する漠然とした不安をいかに払拭していきけるか、また水戸市としての魅力や住みやすさを多くの人に感じてもらう、人口減少時代において街の発展をいかに維持していきけるか、議員としての責任が益々重くなってきたこととを感じておりますが、こう



した混沌とした時代だからこそ、議員の活躍がより鮮明にできる時だと思っております。その為にも、今年もより政務調査などを通して多くの人達との対話や先進事例を学び、行政の行なう様々な施策や制度がこの街の発展にどれだけ寄与する事が出来るか、その行いがどれだけ市民の皆さんに理解の得られる施策なのか、より真贗を見極めていく所存です。

地域的な問題や市の政策及び対応などに疑問などございましたらご連絡下さい。水戸市民の声、心願を市政に反映してまいります。

水戸市議会議員

木本信太郎

平成20年第1回定例会(3月) 一般質問(要旨)

政務調査活動として、本市における耕作地や果樹園地帯における現状の厳しさ、行政に対する要望などを認識、実際に農業を営んでいる先輩議員からのアドバイスなども参考に、いかに次世代が農業経営を行なっていけるか問題点を確認、質問を作成

新規就農者に対するサポート体制について

Q 高齢化により経営が出来なくなった果樹園の担い手を募集したところ、横浜市出身で前職がサラリーマンの私と同年代の人がその果樹園の後継者として先日、本市へ越してきた方がおりますが、こうした事例も含め、食や農業に対する感心の高さに注目し、①新たな担い手の確保策 ②新規就農者に対するサポート体制 ③遊休農地の有効活用策について伺いたい。



A 産業経済部長

①関係機関で組織された担い手育成総合支援協議会により認定農業者等の確保、育成と法人化に向けた支援をしているところであります。②県関係機関と市が一体となり、情報の共有化を図り、就農支援に対応しているところであります。③各種農業相談会や農地流動化を地図情報で支援するマッピングシステム、市ホームページ等で農地情報の提供を継続し、農地の有効活用に努めてまいります。



同世代をはじめとした子を持つお母さん世代から子供を育てていく上での苦勞や環境の厳しさ、学校や施設におけるより融通性のあるサポートを希望され現状を把握



育児・児童サポートの本市の展望について

Q ①待機児童解消の為に、充足率の低い公立幼稚園の活用について ②国が進める幼保一元型保育“認定子供園”に対する本市の見解は ③同地域における保育園、幼稚園、小学校による連携体制について ④義務教育における土曜日授業の復活について 中央教育審議会より発表されました新しい学習指導要領によりますと来年度より実施されます新たな学習指導方針では、必要に応じて土曜日授業の活用が明文化しており、保護者の間からも昔のように土曜日授業の復活を要望する声があると聞いていますが、本市の見解は？

A 教育次長

今後の本市における就学前の幼児教育につきましては、現在、策定を進めております水戸市幼児教育振興基本計画において、幼保の合同保育や連携の成果を踏まえ、認定こども園の導入も含めた幼児教育振興のための指針を策定してまいります。小学校入学に当たっての幼稚園、保育所との連携につきましては、幼稚園や保育所と小学校との情報交換を行い、円滑な接続ができるよう努めております。

また土曜日の活用につきましては、児童・生徒に、子ども会活動やスポーツ少年団活動など、地域活動への参加を促進してまいりました。今後とも、児童、生徒が、郷土の史跡等を訪れる機会を設けるなど、学校週5日制のねらいに沿った活動を進めてまいります。



平成20年第2回定例会(6月) 一般質問(要旨)

人口減少時代における新規定住者獲得策について

Q 本市の人口はいつ減少傾向になってもおかしくない状況である。人口が減少すれば、消費が落ち込み、経済が循環しなくなることによって、税収も落ち込み、結果として行政サービスの低下を招くことになる。そこで、新規定住者獲得のための施策や税増収のための施策について伺いたい。



A 市長公室長

平成31年度の目標人口を28万5千人と設定したが、その実現に向けて水戸の特徴でもある豊かな自然や歴史・文化、都市中継機能の充実、生活基盤整備や民間活力による良好な住宅地の供給、子供たちを育む教育や各種の福祉サービスの充実、さらには就業機



会の拡大など施策の総合的な展開に努め、水戸に住みたいと思えるような魅力ある元氣な水戸の街を目指しております。

地元で行なわれた防災訓練に参加した際に、消火活動やAEDの使い方などを教わる。現在、震度6以上で崩壊の恐れがあり、その耐震化が急務とされている市庁舎において、何年も防災訓練や非難訓練が行なわれていない事に疑問を抱き...

災害時における本市の対応について

Q ①市職員の災害時における対応能力はどのくらいあるのか？ ②本庁舎において非難訓練をはじめとした災害時を想定した訓練が行なわれていないが、多くの市民が日常的に使う施設において、何の訓練もしなければ、災害時に対応できないのではないのか？ ③公共施設における耐震補強が整備出来るまでの対応策は？ ④災害時における要護護者に対する救援体制確立の進捗状況は？



スクールカウンセラー等教育行政について

Q 千波湖の白鳥撲殺事件など、少年による事件が頻発しているが、問題行動を未然に防止するために、スクールカウンセラー(SC)や心の教室相談員、不登校解消支援教員、スクールライフサポーターなどはどのように活用され、どんな実績を上げているか？ また養護教諭においても、SCと同等の知識や問題児などへの対応力が必要と考えるが本市の見解は？



A 教育次長

スクールカウンセラー(SC)や心の教室相談員などは、主に不登校や引きこもりなど、内面的な悩みをもつ児童生徒への対応を行い、成果をあげております。一方、非行や暴力などの問題行動を起こす児童生徒に対しては、日常的に接している教職員が中心となり、役割を決めてチームでの指導に粘り強くSCと共に取り組んでおります。養護教諭につきましても、SC同様その専門性を生かして、児童生徒の問題行動の未然防止に大きな役割を果たしております。



A 総務部長

大規模な地震等の災害が発生した場合、来庁の市民や職員に、地震や火災等の正しい情報を提供することにより、速やかに安全の確保を図り、避難の勧告、避難場所の指示等が的確に伝達できるよう、市役所消防計画に基づき、平素から防災意識の高揚を図るとともに、防災訓練を実施するよう努めてまいりたい、また耐震補強が整備出来るまでの対応策については、「緊急地震速報システム」導入の検討と共に、被害を最小限にとめられるよう、避難方法を周知してまいります。

## 平成20年第3回定例会(9月) 一般質問(要旨)

毎年恒例の花火大会後の翌日朝五時から行なわれる、千波湖ゴミ拾いに参加した際に、昨年同様ゴミの大散乱に愕然とし、市民をはじめ他の町に住む方々にも本市の千波湖をはじめとした環境の大切さをより周知して頂きたく…



- Q** ①水戸市空き缶等のポイ捨て防止に関する条例について施行実績は、どのくらいあるのか。  
 ②水戸市飼犬のふん害等の防止に関する条例について施行実績は、どのくらいあるのか。  
 ③指定職員による活動状況についてどのくらいの周りで巡回しているのか？また実際に指導をした時があるのか？

### A 市民環境部長

①②罰則の適用例ございますが、この条例の趣旨が、ポイ捨て行為が罰則にも値する反社会的行為であることを訴え、未然防止をはかるという目的にあることから、これまで適用例はございません。  
 ③また、巡回指導におきましては、のぼり旗やたすき着用により、条例の周知徹底を図るとともに、散乱ゴミの清掃を通してポイ捨て防止を訴えているところであり、今後も啓発活動や環境美化活動を粘り強く継続し、モラル向上に努めてまいりたいと考えております。



## 財政問題について

- Q** 低負担・高福祉社会に向けた取り組みについて減税自治体構想について本市の考えは

### A 財務部長

「減税自治体構想」につきましては、杉並区が2009年度の制度化を目指して発案した取り組みであり、予算額の1割の額を基金に積み立て、運用益で住民税を減額しようとする試みであります。この件につきましては、独自の事例として今後の動向について注視してまいりたいと考えております。

動物愛護に取り組む方々や地域からのクレームとして、動物関係の問題を調査、県の動物指導センターに行き、現在の対応を把握する、茨城県は大の殺処分が全国1であり、水戸からの依頼の多くは他の市町村に比べ野良犬より飼っているペットの処方を依頼されるケースが多い事を知る

## 動物愛護に関する本市の取り組み・考え方について

- Q** ①厚生労働省が進める狂犬病予防注射後の登録制度  
 ②狂犬病予防注射後の済書について  
 ③動物の避妊・去勢に対する本市の考えは。  
 ④捨て犬や捨て猫対策について  
 ⑤飼い主のモラル向上に向けた取り組み



### A 保健福祉部長

①飼い犬の登録制度につきましては、集合注射の会場や市内の動物病院などへの拡大等、公金の取り扱いや二重登録の防止など解決すべき課題も多いことから、今後、検討してまいりたいと考えております。  
 ②狂犬病予防注射済書につきましては、本市では現在、予防注射を受けやすい環境を整えるという観点から無料で交付しております。  
 ③動物の避妊、去勢に対する本市の考えと、捨て犬や捨て猫対策につきましては現在、県獣医師会が「ペット繁殖防止事業」として犬猫の避妊や去勢手術の助成事業に取り組まれていることから、本市といたしましては、広報みとやホームページなどを活用した普及啓発に取り組んでいるところでございます。

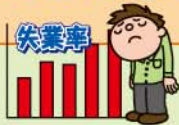
④今後とも県獣医師会との連携を密にし、捨て犬、捨て猫の減少に努めてまいりたいと考えております。  
 ⑤次に、飼い主のモラル向上に向けた取り組みにつきましては、本市では、県と県獣医師会との連携のもと「飼い主のルールとマナー」のチラシを作成、配布するとともに、広報みと、ホームページなどに啓発記事を掲載し、飼い主のモラル向上に努めているところでございます。今後とも引き続き普及啓発に努めてまいります。



## 平成20年第4回定例会(12月) 一般質問(要旨)

政務調査として派遣会社や就職活動をしている方など、現在の実情や問題点を確認、派遣社員や就活者を取り巻く環境の厳しさと将来に対する不安を聞き、本市への要望を認識する

## 雇用対策について



- Q** ①景気の後退に伴い雇用情勢が悪化しているが、本市は市内の労働市場の現状や失業率の推移、正規雇用や派遣労働、ニートなども含めてどのくらい現状を把握し、分析しているのか？  
 ②今までの雇用対策における施策がどのくらい求職者へ就労の機会を与えてきたのか？  
 ③来年はさらに景気の悪化が懸念され、より雇用を取り巻く環境が厳しさを増していくと考えられるが何か具体的な今後の対策はあるのか？

### A 産業経済部長

①水戸市を含む7市町村を所管するハローワーク水戸の公表値によりますと、管内の「新規求人数」「有効求人数」「有効求人倍率」すべて減になっており雇用を取り巻く環境は、より一段と厳しさを増しております。  
 ②他の行政機関と連携を取り就職面接会を開いており多くの参加がございましたが、内定者にはついては現在集計中であります。  
 ③引き続き関係機関との連携をはかり面接会をはじめ市民への情報提供など雇用の安定化を図るため就職支援及び雇用対策に努めてまいります。

現在取沙汰されている救急医療の問題において本市は、どのような対応を取っているか？ 実際に救急車を呼んでから病院に搬送されるまで、受け入れ先がなく救急車で待機させられた方から、本市の救急医療に対する改善を求められる

## 救急医療 ドクターカーの運用について

- Q** 病院の受け入れ拒否により脳内出血を起こした妊婦が死亡する事件がニュースなどで取沙汰されているが、時間帯や病院側の都合により、助かるかも知

れない命が絶たれてしまうのはその遺族へ対して非常にやるせない気持ちを残す結果になる、本市が救急医療対策において病院と契約をしておりますドクターカーが土日休みの平日朝9時から夕方5時までの日勤体制での運用になっているが、現在の社会的な状況を鑑みれば24時間体制に向け病院側と医師の待遇や体制状況の改善、医師の確保など、具体的な体制作りの為、何かしらの兆しがあるのか？その進捗状況をお答え下さい。

### A 消防長

医療体制の課題に対して、問題解決に向け病院側と十分な協議検討を行い、早期の24時間体制の実施に向け、努力してまいります。



## その他の質問事項

### まちづくりについて

- ①市政施行120周年及び水戸藩開藩400年記念事業のメインイベントの具体的な中身について  
 ②水戸芸術館を活用した街づくり及び観光戦略について  
 ③(仮称)新好文茶屋の具体的な中身の内容について



# アクティビティ

## 活動のひとコマ



本市で行われたイベントでの開会宣言



文化都市「水戸」の形成の為に!



エネルギー問題を考える際に、同期議員の提案により、福島原発を視察



昨年4月、水戸芸術館で行われた街づくりに関する講演でのひとコマ



都市建設委員会でのひとコマ



水戸デザインフェスティバル表彰式



**市政へのご意見・ご要望**  
そしてご相談など  
ございましたらご連絡下さい!

**SHINTARO KIMOTO**  
kimoto-office@at-sys.co.jp

「大阪から来ました、今日中に東京発の夜行バスで帰ります」疲れも知らずその男性は疲弊しつつある中心市街地の路地裏を軽快に歩き、私はまったく違う視線で水戸を満喫していました。

これは昨年行なわれた水戸芸術館主催のカフェイン水戸のイベントの際に、南町にある、今は空き家になっている住宅謙居酒屋をほぼそのままの状態でアート化し行なわれたイベントでお会いした大阪人の男性です。思い起こせば、今から約20年前に水戸市政施行100周年のメイン事業として当時の故・佐川元市長の肝いりで水戸芸術館が開館しました、当時の開館記念式典の際に、館長から、これからの街づくりは水戸芸術館を基点とした特色ある街づくりが行なえれば」とのコメントがありました。二十年たった今、その思いは中心市街地の疲弊化という問題に直面し、芸術館の周りには、アートタワーの存在感が薄れるぐらいの高層マンションがタワーを囲むように乱立、当時の関係者との思いとは裏腹に、厳しい現実が中心市街地を襲っています。日頃、どうやって中心市街地を活性化するかという議論は行政でも活発に交わされており、実際に様々な施策や補助なども商店街には行なわれておりますが、現状を回天するだけの結果がでていないのが事実です。

大きな雇用を創出できる企業を誘致し、また多くの人達が水戸に安住の地を求めて人口がこれからも増加していけば、問題に一定の歯止めがかけられますが、現在の経済低迷と少子高齢や人口減少時代に、その可能性はより険しいものになっていっていると思います。そう考えると暗くなるばかりですが、一方、街を見つめなおせば、場所や世代は違えども多くの人たちが日夜、何とか自分達で地域を、商店街を活性化しようとする忙しさを伺って集まり様々な行事や企画を考えております。

行政側がこうした人達を今後より強力にサポートしていく事はもちろんですが、これからは、より一層そうした中からでてくる斬新な企画に行政側の規制の壁をどう取っ払っていくか、また新たなチャンセルによる街づくりグループをどう育てていくかが、当り前の事ですが、やはり重要だと思えます。世代を問わず、地域を問わず、ジャンルを問わず、多くの人達がその自分が所属する場所において、様々なアイデアをもって実験的に街づくりを行っている、そうした頑張っている人達が、挑戦している人がある、その先に水戸の魅力が構築されていくと思えます。またそうした人達が先人として水戸を創ってきたからこそ今日の水戸市政施行120周年、水戸開藩400周年の年を迎えられたのだと思います。



**街づくりを考える!**

|| その先にあるもの ||  
街を見つめ直せば ||

